

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業		担当部署	企業局 ボートレース企画課 ボートレース事業課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	モーターボート競走法 経営戦略アクションプラン2016	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	未定
(小項目)		行財政運営				
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業	2	財政の健全化				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 ボートレース鳴門						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	景気低迷やレジャーの多様化など厳しい経営状況に置かれているボートレース鳴門を、将来に渡って持続可能で健全な経営が可能な企業として生まれ変わらせるために、アクションプランを策定し、計画の着実な実行に取り組む。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	経営戦略アクションプランの着実な実行による健全な経営を行い、GIレース、モーニングレース、サマータイムレースを計画するとともに、オラレ美馬リニューアルオープンを目指した。また、既存顧客及び新規顧客確保に向けたファンサービスの実施を行うとともに、プレイパークの活用により、ボートレース場のイメージアップを図る。 他、キャッシュレスカードの利用促進による売上向上、ROKU、なるちゃんホール等の地域開放型施設の運用、まちづくりエリア(あらたえの湯)との連携等を計画した。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		SG等ビッグレースの開催 経営戦略アクションプランの実行	100	100				%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	経営戦略アクションプランの着実な実行による健全な経営を行い、GIレース、モーニングレース、サマータイムレースを計画し、顧客の誘致を図った。また、トークショーや粗品配布等の既存顧客向け及び新規顧客に向けたファンサービスの実施を行うとともに、ウォータースペクタクルの開催、なるちゃんワールドの営業等様々なイベントを行い、ボートレース場のイメージアップを図った。また、ウズパークを整備するとともに、スケートボードやバスケットボールのイベント等を開催することにより、ボートレース場のイメージチェンジを図り、ボートレースパーク化に取り組んだ。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	SG等ビッグレースの開催 経営戦略アクションプランの実行	100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	39,000	39,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	39,000	39,000
		決算額	0	0	0	0	38,895	38,895
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		6.0	0.0		43,926		82,821	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	229,236	38,895	205,162	205,162	205,162
	うち一般財源	229,236	38,895	205,162	205,162	205,162
	人件費	43,404	43,926	43,926	43,926	43,926
	総事業費	272,640	82,821	249,088	249,088	249,088

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		GIレース等の実施、オラレ美馬リニューアルオープン、プレイパークの整備・運用開始等厳しいスケジュールではあったが、全ての事業を完遂できた。
	効率性	A:効率的だった		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められた。人員についても最少の人数と考えている。
②成果に対する評価	指標名	SG等ビッグレースの開催経営戦略アクションプランの実行		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められており、事業は計画通り遂行した。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		GIレース等の実施、オラレ美馬リニューアルオープン、プレイパークの整備・運用開始等、計画通り遂行でき、ボートレースのイメージアップを図った。また、売上、ファンサービス等についても好調である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和元年度は、引き続き下半期にモーニングレースを開催し、GI大渦大賞開設66周年記念競走、GIIレディースオールスターの開催が決まっていることから、これにあわせてイベントホールの新築をすすめるなど、成功に向けて準備に入っている。一方、本場レース開催時の入場者数は減少傾向にあるため、新たなファンを獲得する施策を展開する必要がある。令和2年度は、SG第25回オーシャンカップの開催が決定し、売上の増加が期待され、また、更なる知名度向上を図るべく、全国発売のグレードレースを誘致し、広域発売上(電話投票、場間場外発売)においても安定的な経営を続けたいと考える。また、ウズパークにおいては、地域連携イベントを開催するなど、ボートレースパーク化に取り組み、ボートレース場のイメージチェンジを引き続き図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	効率的な運営形態によりレースを開催する(モーニング、薄暮)。SG等ビッグレースの誘致を目指す。経営戦略アクションプランに基づき、より健全な事業運営に取り組む。イベントホール新築、外向発売所(指定席棟)増築の整備をすすめる。			
	R2年度	SG第25回オーシャンカップを開催する。効率的な運営形態によりレースを開催する(モーニング、薄暮)。SG等ビッグレースの誘致を目指す。経営戦略アクションプランに基づき、より健全な事業運営に取り組む。			